

ICT教育推進事業

事業の名称：若い世代の希望をかなえる「むら」づくり事業

事業費：15,000,000円

寄附目標額：15,000,000円

寄附を希望する物品等：タブレット端末、電子黒板、その他ICT関連機器

球磨村では、小中学校の再編により、村内唯一の学校である義務教育学校「球磨清流学園」が令和6年4月に開校し、9学年133人(令和8年4月現在)の児童・生徒が学んでいます。

球磨清流学園では、教育現場におけるICT支援に力を入れており、児童生徒が利用するタブレット端末の利用推進だけでなく、現場の実態に応じた利用サービスの選定・導入・整備や、教職員の働き方改革など、ICTを駆使して幅広い支援を行っています。

特に、ICT支援員は学校現場での困りごと(操作方法や不具合、相談など)をオンラインや現地で迅速に対応できるようになっており、ICTの活用機会を増やしつつ、デジタルが苦手な先生方でもモチベーションを損なわないよう支援しています。また、端末や校内ネットワーク、セキュリティをはじめとするICT全般で助言を行うなど、他市町村にはないような手厚い体制となっています。

加えて、熊本県の市町村では唯一、Google for Educationパートナー自治体プログラムにも参画しており、Google社と教育委員会、学校、ICT支援員が連携し、比較的デジタルに触れる機会の少ない山村地域の子どもたちでも、都会の子どもたちと同等のスキルを得られるよう、先進的な環境づくりを目指しています。

